

Seasonal News Pomp and Classics!

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0022 東京都品川区東五反田5-24-9 五反田パークサイドビル5F

2025年5月31日発行 第48号 (季刊・毎年2、5、8、11月発行) 発行人: 入山功一 編集人: 中村聡武

CLASSIC TEL 03-5488-6777 FAX 03-5488-6779 E-mail info@classic.or.jp https://www.classic.or.jp/

本紙タイトルの「ポンプ&クラシックス Pomp and Classics」とは、英国の作曲家エドワード・エルガーの名曲「威風堂々(Pomp and Circumstance)」のタイトルを転用し、華やかにクラシック音楽を盛り上げていきたいとの想いが付けられました。

INDEX

P.1 『新クラシック・コンサート制作の基礎知識』/インバウンド対策協議会

P.2 Activities

P.3 What's New(会員情報/今後の活動予定)

P.4 会員一覧/リレーエッセイ

産学連携テキスト 12年ぶりのリニューアル 『新 クラシック・コンサート制作の基礎知識』



協会の人材育成の要として2013年に発刊した産学連携テキストが、この度12年ぶりに、最新のコンサート制作に関する知見等も盛り込んで新たにリニューアルいたしました。その名も「新 クラシック・コンサート制作の基礎知識」として、業界の最前線を知り尽くす16名の皆様による渾身の執筆内容となっております。

協会会員の人材育成はもとより、クラシック・コンサートに関係する教育機関や関連団体の皆様、クラシック・

コンサートの愛好者等、コンサートの企画制作に関する方々の必読のテキストとしてご活用いただければ幸甚に存じます。

『新 クラシック・コンサート制作の基礎知識』(2025年5月20日初版発行)

企画・制作 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編 纂 石田麻子

出版社 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

版 形 B5判/200ページ

価 格 2,750円(定価2,500円+消費税10% 250円)

※協会会員、大学等教育機関向け割引あり。

協会事務局までお問合せください。

I S B N 978-4-636-11469-0

〈執筆者〉

新井鷗子、石田麻子、乾 美宇、入山功一、喜多弘悦、下野ツヨシ、中山欽吾(山口 毅)、西川彰一、仁科岡彦、西巻正史、二瓶純一、平井俊邦、森岡めぐみ、吉田純子、蓬澤宏哉

〈内容〉

- 第1部 クラシック・コンサートのこれまでと現在**
クラシック・コンサートを検証する(吉田純子)
クラシック・コンサートを取り巻く環境(石田麻子)
- 第2部 クラシック・コンサートをつくる**
コンサートの企画(入山功一)
ホールの生命線、それが主催公演だ!(西巻正史)
インクルーシブなコンサートの制作考(新井鷗子)
制作(乾 美宇)
広報・宣伝(森岡めぐみ)
見せたい情報を魅せる チラシデザインをコアにした宣材活用法(下野ツヨシ)
コンサートのマーケティング(二瓶純一)
地方ホールのマーケティング(喜多弘悦)
公演運営(蓬澤宏哉)
- 第3部 クラシック・コンサートにかかわる人と知識**
アーティスト・マネジメント(入山功一)
オーケストラの企画プロデュース(西川彰一)
オーケストラの経営(平井俊邦)
オペラ公演の企画(中山欽吾 / 改訂版補筆: 山口 毅)
オペラ公演の制作(仁科岡彦)
コラム 市民オペラ(石田麻子)
- 第4部 クラシック・コンサートの現在とこれから**
文化政策と舞台芸術(石田麻子)
【付録】クラシック・コンサート制作に関連する資料

◎お問合せ、お申込は協会事務局まで。ヤマハショップ他、一般書籍ルートでの販売も行います。

インバウンド対策協議会

マナー啓発用「ビクトボード」、リーフレットなど公開準備中

昨今のインバウンド需要の高まりに伴い、コンサートの現場での課題に対処する為、協会では昨年からインバウンド対策協議会を開催し、会員の知見を持ち寄り話し合いを進めています。

昨年度2回開催の中で、外国語でマナー啓発用の媒体を作ってはどうかという意見が挙がりました。そこで4月に既に3回の会議を重ね、①「ビクトボード」(「電源オフ」等、客席内で係員が手で掲げる案内板)、②購入者向けの事前告知文章(「チケットは1人1枚必

要」「転売サイトでの購入は入場を保証できない場合がある」等)、③日本ならではのコンサートの楽しみ方をご案内するリーフレットを作成中です。

近日中に完成した際には協会サイトで公開し、会員に限らずどなたでもダウンロードして使えるようにし普及を図る事を目指しています。



Activities

●2月3日 令和6年度第1回会員研修会「フリーランス新法について / SNSのリスクマネジメント」

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(大))

ゲスト: 弁護士 島崎 政虎氏(半蔵門総合法律事務所)

司会・コーディネーター: 入山 功一

(協会会長・株式会社AMATI代表取締役)

15社・34名の会員が参加しました。前半ではフリーランス新法の概要及びその適用範囲、フリーランスへの業務発注と契約締結に関するポイントを学び、後半ではSNSを運用する際に事前のリスクマネジメントの必要性について、具体的な事例を基に学びました。

●2月6日 令和6年度第2回アワード運営委員会

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(大))

7名の委員と協会役員3名、計10名が集まり、クラシック・アワード(仮称)の受賞対象者・贈賞内容、時期、広報等について意見交換しました。3月末の理事会に提案するため、次回は引き続き概要を詰める事としました。

●2月10日 第1回役員選任委員会

●2月13日 2025・2026年度を任期とする役員選出について(公示)

●2月16日 青年部希望者による事業視察

●2月17日～18日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業アーティスト実地研修(山形県鶴岡市)

●2月26日～28日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業アーティスト実地研修(岡山県勝央町)

●2月28日 青年部 座談会「座・青年部～先輩を迎えて」

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(大))

第1回ゲスト: 青木 聡氏(公益財団法人 ソニー音楽財団 専務理事 / ライブエグザム 常務取締役 / ソニー・ミュージックエンタテインメント ライブビジネス管理本部副本部長)

青年部での取り組みとして「勉強会」を行いたいという声があり初めて開催し、会員社所属の若手スタッフ計8社13名が参加しました。角野隼斗さんなどアーティストのプロデュースにまつわる経験談等を車座になってお話し、質疑応答も活発に行いました。今後も青年部では同様の企画を行いますので、青年部の活動にご興味ある方は事務局まで一報ください。



●3月3日 2025・2026年度を任期とする役員選出 選挙告示(立候補・推薦受付開始)

●3月6日 第7回(令和6年度第4回) 青年部

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(大))

2月28日に行った座談会「座・青年部」の振り返りと、第2回に向けて時期や内容等を話し合いました。

●3月7日 令和6年度第3回アワード運営委員会

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(小))

7名の委員と協会役員3名、計10名が参加し、クラシック・アワード(仮称)は顕彰だけに留まらず受賞者にアンバサダーの役割をお願いする事で、公演の広報等を具体的に依頼できる仕



組みとしたい。時期は2026年度の可能性も含め引き続き議論を重ねる、等の内容で理事会へ提案することとなりました。

●3月14日 2025・2026年度を任期とする役員選出 立候補・推薦締切

●3月18日 令和6年度第1回女性部会 講演会「インクルーシブ・アーツ 社会包摂×文化芸術」

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(大))

講師: 新井 鷗子氏(横浜みなとみらいホール館長)

進行: 萩野 美智子(女性部会担当理事・一般社団法人ブラームスホール協会 理事長)

新井講師がトップランナーとして取り組まれている「インクルーシブ・アーツ」「社会包摂×文化芸術」について、実際の取り組みの様子を写真や動画で数多くご紹介いただきながら、お話を伺いました。12社17名の会員が参加しました。



●3月25日 2025・2026年度を任期とする役員予備選挙告示(投票開始)

●3月27日 令和6年度第3回執行役員会、第4回定例理事会

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(大))

理事会では「クラシック・アワード(仮称)」の委員会協議報告、令和7年度事業計画案・収支予算案、会員入退会の審議と、文化芸術振興議員連盟総会の報告、その他を行いました。



●4月4日 2025・2026年度を任期とする役員予備選挙 投票締め切り

●4月4日 インバウンド対策協議会・令和7年度第1回作業部会

(於: オフィスサークルN五反田 会議室)

4社7名の会員と協会役員3名の、計10名が参加しました。前回の協議会で課題として挙がった「業界共通のマナー啓発情報」について、適切な媒体、内容、普及手段などを検討しました。客席で掲げる「お静かに」等の手持ち看板(ビクトボード)を日英2か国語で、また事前の注意事項や楽しみ方を日英中韓4か国語で作成し、誰でも使えるようネット上で公開する事を目指す事になりました。

●4月11日 インバウンド対策協議会・令和7年度第2回作業部会

(於: オフィスサークルN五反田 会議室)

4社7名の会員と協会役員2名の、計9名が参加しました。ビクトボードや事前告知の内容について具体的な内容を詰め、次回の全体の協議会で提案することとしました。

●4月11日 新型コロナウイルス感染症からの回復調査開始(2024年状況について)

●4月14日 第2回役員選任委員会

理事会・総会に提案する答申案の協議を行いました。

●4月21日 第3回(令和7年度第1回)インバウンド対策協議会

(於: オフィスサークルN五反田 セミナー室(大))

10社12名の会員と協会役員3名、計15名が参加しました。2回の作業部会で検討したマナー啓発の媒体について賛同を得た他、デジタルサイネージや動画の作成、協会での研修会開催等の意見も挙がりま

した。翻訳機器や海外プレイガイドへの委託など現状の共有も行いました。

●4月22日 [協会受託事業] 令和7年度公共ホール音楽活性化事業 登録アーティストプレゼンテーション

(於:TOPPANホール)

一般財団法人地域創造の同事業登録アーティスト5名が全国のホール担当者へ向けて、演奏とトークによるプレゼンテーションを行いました。当会は制作協力として舞台進行等を行いました。

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。当日くじ引き抽せんまで当せんされたお客さまにご観覧いただきました(東京は120名、大阪は80名限定)。



2月19日(水)東京

出演:

川井綾子/ピアノ(ミリオンコンサート協会所属)
野口千代光/ヴァイオリン(コンサートイマジン所属)
長谷部一郎/チェロ(プレルディオ所属)



2月20日(木)大阪

出演:

泊真美子/ピアノ(東京コンサート所属)
瀧村依里/ヴァイオリン(プロ アルテムジケ所属)



3月12日(水)東京

出演:

中川賢一/指揮(アーティフィニティ所属)
神谷未穂/コンサートミストレス(ミリオンコンサート協会所属)
他、会員社等所属の演奏家20名によるスペシャルオーケストラ



3月13日(木)大阪

出演:

福川伸陽/ホルン(コンサートイマジン所属)
石上真由子/ヴァイオリン(ミュージックパートナーズ所属)
瀧村依里/ヴァイオリン(プロ アルテムジケ所属)
神谷未穂/ヴィオラ(ミリオンコンサート協会所属)
奥田なな子/チェロ(ミリオンコンサート協会所属)



4月16日(水)東京

出演:

上田純子/ソプラノ(二期会21所属)
矢崎貴子/ピアノ



4月17日(木)大阪

出演:

酒井有彩/ピアノ(Miyazawa&Co.所属)
ヴィタリ・ユシュマノフ/バリトン
(ミュージックパートナーズ所属)

What's New

会員情報

[会員種別変更]

正会員 [会費] 賛助会員 一般社団法人ブラームスホール協会

[名称変更]

正会員C 新名称 TOPPANホール株式会社
(旧名称 株式会社トッパンホール)

[住所変更、人事]

賛助会員 公益財団法人日本センチュリー交響楽団
新住所 〒561-0873 大阪府豊中市服部緑地1-7
(TEL, FAXは変更無)
理事長代行 梶原健
法人営業部長 河村一正(事務局長から変更)

[人事]

正会員B 株式会社二期会21
事業本部長 瓦井真衣子
(会員権利行使者(代表者)兼協会担当者)
正会員C 株式会社プロマックス
代表取締役 朴雄熙
代表取締役 高杉慎一郎(会員権利行使者(代表者))
取締役会長 遠山豊
取締役 渡辺邦夫
監査役 市川義夫
賛助会員 公益財団法人サントリー芸術財団
サントリーホール総支配人 長政友美
シニアアドバイザー 折井雅子
賛助会員 学校法人尚美学園
学長・理事長 永山賀久
事務局長 中村維利
賛助会員 一般財団法人住友生命福祉文化財団
住友生命いずみホール事業局
支配人 常務理事兼事業局長 松田陽
(会員権利行使者(代表者))
賛助会員 株式会社毎日放送事業局
事業局長 入江進
協会担当:事業局事業部エキスパート 加藤美子

*敬称略。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。

今後の活動予定

●6月17日 令和7年度定時会員総会

日時:6月17日(火)14時~16時

会場:東京オペラシティビル7階 第2会議室

*詳細は正会員代表者へ別途ご案内。

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

6月以降は次の予定です。

■6月18日 東京
廣田美穂/ソプラノ(日本オペラ振興会所属)
中井亮一/テノール(日本オペラ振興会所属)
■6月19日 大阪
関喜弦介/クラシック・ギター(新演/カモシタピアノ所属)
■7月16日 東京
海野幹雄/チェロ(新演/カモシタピアノ所属)
實川風/ピアノ(Miyazawa&Co.所属)
■7月17日 大阪
石上真由子/ヴァイオリン(ミュージックパートナーズ所属)
中野翔太/ピアノ(ジャパン・アーツ所属)
■8月20日 東京
田村緑/ピアノ(ティムズ所属)
大森潤子/ヴァイオリン(ミリオンコンサート協会所属)
■8月21日 大阪
田中靖人/サクソフォン(プロ アルテムジケ所属)
中川賢一/ピアノ(アーティフィニティ所属)

※9月以降も開催予定です

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目24番9号 五反田パークサイドビル5F
TEL:03-5488-6777 FAX:03-5488-6779 URL: <https://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、77年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けてスマートフォンを活用したコンサート情報アプリ「チラシクラシック」の運営等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展のための事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正会員（令和7年5月20日現在）

(株)朝日ビルディング・浜離宮朝日ホール
(株)アスベン
(株)アーティフィニティ
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
(株)Eアーツカンパニー
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(株)王子ホール
(有)大阪アーティスト協会
(株)大阪アートエージェンシー
(株)オフィス・フォルテ
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
Kトレーディング(株)

(株)光藍社
コロムビアクリエイティブ(株)アーティスト第3事業部コロムビアインターナショナルビジネスユニット
コンサートイマジネーション
(株)ザ・シンフォニーホール
(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シンド音楽企画
(株)ジャパン・アーツ
新演コンサート／(株)カモシタピア
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)テンポアプロ
(株)東急文化村
(公社)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサーツ
TOPPANホール(株)
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21

(株)日本アーティスト
(公社)日本オペラ振興会
(公社)日本製鉄文化財団 日本製鉄紀尾井ホール
(株)ノジリスタジオ
ハーモニージャパン(株)
Hakuju Hall
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント
(株)フレール・ディ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)プロマックス
(株)ミヅマ・ミュージックプロダクツ
Miyazawa & Co.
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会
(株)ラポートサウンド

賛助会員（令和7年5月20日現在）

あいおいニッセイ同和損保・フェニックスホール
朝日放送テレビ(株) イベント事業部
(株)イーブス
(公社)大阪交響楽団
(一財)小野文化財団
(株)音楽之友社
(特非)関西芸術振興会・関西歌劇団
(公社)神戸市立文化振興財団
コジマ・コンサートマネジメント
(株)コンソナントピアノス
堺シティオペラ(一社)
(公社)サントリー芸術財団 サントリーホール

(学)尚美学園
昭和音楽大学
(株)シンファート 国際旅行部
住友生命いずみホール
(公社)ソニー音楽財団
(株)中京テレビクリエイション
(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 イベント事業局
(株)テレビ東京 IP事業局 イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
(株)テレビ放送(株)

(株)東京国際フォーラム
(公社)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
東京労音
東武トップツアーズ(株)関西支社
(有)ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業ユニット 文化事業部
(公社)日本室内楽振興財団
(公社)日本センチュリー交響楽団
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公社)びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
フェスティバルホール

(株)ぶらあぼホールディングス
(一社)プラムスホール協会
毎日新聞社事業本部文化事業部
(株)毎日放送事業局
三重県文化会館
宗次ホール
ヤマハ(株)
(公社)横浜芸術文化振興財団(横浜みなとみらいホール)
(公社)ローム ミュージック ファンデーション
ワタコルディアホール

Relay Essay 人生の彩り



蓮澤 宏哉

(一社)日本クラシック音楽事業協会
賛助会員
(公社)サントリー芸術財団
サントリーホール 運営統括部長

気がつけば、還暦まで一年を切り、最近ふと「人生の残り時間で自分は何ができるのだろう。何をしたいのだろう」と考えることが増えました。そして、世の中のことも人生のことも分からないままに固い殻をまとい、美術と音楽に逃避していた10代の頃の自分を思い出すのです。

学生時代は、治安が最悪だったニューヨークに無性に魅かれました。アルバイトでお金を溜めては吸い寄せられるようにたびたび一人で訪れていました。昼は美術館やギャラリーをハシゴし、夜はクラシックやジャズを聴いてまわる。深夜になると地下鉄で街のあちこちに出かけて朝まで飲み歩きました(お酒は成人してからです)。危険なエリアで酔いつぶれて目が覚めると財布が無くなっていたり、真夜中の地下鉄で拳動のおかしい連中に囲まれて脅されたり。恐れも知らずに暴走していた当時の自分を思い出すたび、よくあの街で死なずにすんだと思います。ですが、今思えば自分はこの頃すでに、人が人として生きていく意味を自分なりに模索し始めていたような気がします。

酒を飲む。芸術に触れる。心が満たされ、モノトーンに見えた世界に色彩が生まれる。自分にとって、お酒を飲むことも芸術を鑑賞することも、人生を豊かにしてくれる、いわば人生の彩りです。この彩りを探索していくことが、自分にとって生きる意味なのかもしれない。そう思い始めた大学3年の時、自分の視界にサントリーという会社が飛び込んできたのです。その会社は、一方で愚直なほどひたむきに「旨い酒」の開発と「面白い」で汗を流し、一方で「美術」や「音楽」を探索し人々に届ける活動にも心血を注いでいました。なんと面白い会社だろう。自分もこの会社に入り、世の中、人々の人生にささやかでも「彩り」を添える仕事がしたいと思いました。この時、ほかの選択肢は一切頭にありませんでした。

入社後20年間は、お酒のマーケティングの仕事に従事しました。その後、サント

リーバプリシティサービスへの出向が転機となり、鎌倉芸術館、島根県立美術館に勤務しました。入社25年目にサントリー美術館に着任。その4年後にサントリーホールへ着任して今日に至ります。

今年で入社36年目。お酒、美術、音楽を通して、誰かの人生に彩りをお届けしたいと願い、努めてきましたが、果たしてどれだけ成果を生み出せたのか、自信はありません。

コロナが勃発した時、美術や音楽は「不要不急」のものだと言われました。生死が掛かっている局面では、人生の彩りなどと言っている場合ではない。あの時、その仕事に携わる者としての悔しさよりも、一人の人間として大切なものを否定されたような、やるせない気持ちになったことを、今も覚えています。でも、しばらくして私は反論する必要などないことに気づきました。コロナ禍においても、安全対策をして芸術鑑賞を楽しんでいる人たちの満ち足りた笑顔を見れば、答えは明らかだったからです。

たかが数十年の人生で、人ができることなど知れています。でも、だからこそ、生きている限り「彩り」を探し続け、誰かの人生に、そして自分の人生に届けていきたいと思います。

次回は、ザ・シンフォニーホール取締役ゼネラルマネージャー・音楽監督の喜多 次悦さんにバトンをお渡しいたします。

プロフィール

1989年サントリー(株)入社。宣伝部・事業部等に在籍の後、鎌倉芸術館、島根県立美術館、サントリー美術館での勤務を経て、2018年よりサントリーホール勤務。

公益財団法人サントリー芸術財団 サントリーホール

東京都港区虎ノ門1-3-1 <https://suntory.jp/HALL/>

東京初のコンサート専用ホールとして、「世界一美しい響き」をめざし、1986年に開館しました。創造的で質の高い自主企画公演、音楽文化の継承と発展を視野に入れたエデュケーション活動、そして開かれたホールとしての様々な取り組みを展開していきます。